高精細でひもとくルオーの絵画

Film “Rouault in High-resolution Images”

鮮やかな色彩と厚塗りの絵具による凹凸のあるマティエールは、ルオーの絵画の特徴です。ルオーは、色彩の喚起力とマティエールの重要性について、師であるギュスターヴ・モローより学び、それらを生涯探求しました。1929年にルオーの制作を実見した画家の伊藤廉は、「塗ってはけづり、乾かし、また塗り、そしてけづり、[中略]この技法によつて、きわめて薄い絵具の膜の重なりによる、特殊のマチエールが作られる」と、ルオーの技法を叙述しています。

ルオーのこうした重層的な絵具の表現に迫るために、当館は、昨夏、制作時期の異なる4点のルオーの絵画を高精細撮影しました。大型スキャナーで精緻に撮影した画像には、絵具の塗り重なりや、筆の運び、そして油絵具の質感などが鮮明に写しとられています。また、光源4方向からライトを照射し、作品の凹凸情報を引きだす撮影も行いました。その結果、ルオー絵画に使われている驚くほど多様な色彩や、制作時期によるマティエールと凹凸感の差異などが改めて浮き彫りにされました。

この度のルオー・ギャラリーの展示では、上記手法によって高精細撮影された2点の絵画、《女曲馬師(人形の顔)》(1925年頃)と《エジプトへの逃避》(1952年)を、プロジェクターとモニターに映し出します。精緻な画像によって作品の細部に迫り、また作品の凹凸感を強調した映像や空間に作品を広く投影することによって、ルオーの絵画の豊かな色彩や絵具の多層性をひもときます。本映像に合わせて作曲された音楽と共に空間全体でルオーの作品を見て、感じていただくような、新たな鑑賞体験となれば幸いです。

高精細撮影風景

投影作品

《女曲馬師(人形の顔)》1925年頃
Circus rider (Doll’s head)
Ecuyère de cirque(Tête de poupée)

《エジプトへの逃避》1952年
The Flight into Egypt
La Fuite en Egypte

いずれもパナソニック汐留美術館蔵

映像制作：NHKエンタープライズ／株式会社サンエムカラー／ネストビジュアル
音楽：穴沢弘慶